

令和7年度 屯田西小学校 全国学力・学習状況調査の結果について

【国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【内容】 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。 <出題内容> 「あつい日」について、漢字を使って書き直す。</p>	<p>▶ 日常の作文や短文作りで漢字を意図的に用いることで、文脈の中での適切な使い方を指導する。</p>
<p>「情報の扱い方に関する事項」 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。 <出題内容> 「話し合いの記録」の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する。</p>	<p>▶ 文章中の情報を整理し、原因と結果や対比などの関係を図や表に表す活動を取り入れる。 ▶ 関係付けの型を示し、語句同士のつながりを説明・可視化する練習を重ねて活用力を高める。</p>
<p>「我が国の言語文化に関する事項」 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。 <出題内容> 経験したことから正しい気付きについて選択する。</p>	<p>▶ 昔と今の言葉や世代差のある表現を具体例で比較し、意味や使われ方の違いに気付くことができるように指導する。</p>
<p>「話すこと・聞くこと」 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる。 <出題内容> 音声教材を聞き、発言した目的として適切なものを選択する。</p>	<p>▶ 聞く目的を明確にしてから話を聞かせ、要点や必要情報に着目できるように指導する。 ▶ メモや質問の活用、要約練習を通して意図に沿った内容の理解力を段階的に高める。</p>
<p>「書くこと」 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。 <出題内容> 資料について、【調べたこと】を基に詳しく書く。</p>	<p>▶ 文章の目的や読み手を意識し、簡潔表現と詳細表現の使い分けを練習する。 ▶ 推敲や比較の活動を通じ、自分の考えが明確に伝わる工夫を意識して書く力を高める。</p>
<p>「読むこと」 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。 <出題内容> 資料を読み、言葉の変化について自分が納得したことを、別の資料に書かれていることを理由にしてまとめて書く。</p>	<p>▶ 文章と図表の対応関係を示し、必要情報を抜き出す練習を段階的に行う。 ▶ 問いに応じて図表を活用することを通して、情報の関連付け方や整理の方法を意識することで理解力を高める。</p>

令和7年度 屯田西小学校 全国学力・学習状況調査の結果について

【算数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【内容】 「数と計算」 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる。 <出題内容> 1/2 + 1/3 を計算する。</p>	<p>▶ 通分の意味を図や数直線で理解できるように、具体物操作を取り入れながら指導する。 ▶ 最小公倍数の求め方を段階的に指導し、計算練習を繰り返して確実な技能の習得を図る。</p>
<p>「図形」 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる。 <出題内容> 示された平行四辺形をかくために、コンパスの開く長さを書き、コンパスの針を刺す場所を選択する。</p>	<p>▶ 平行四辺形の性質（対辺の平行・等長、対角線の交点）を確認し、作図手順を段階的に指導する。 ▶ コンパス操作の基礎練習と手順の言語化を通して理解と技能の定着を図る。</p>
<p>「測定」 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ はかりの目盛りを読むことができるかどうかをみる。 <出題内容> はかりが示された場面で、はかりの目盛りを読み取る。</p>	<p>▶ 実際のはかりを使い、目盛りの間隔や単位に着目させて読む練習を繰り返す。 ▶ 段階的に難度を上げ、目盛りに気を付けながら、正確に読む力の定着を図る。</p>
<p>「変化と関係」 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる。 <出題内容> 10%増量したつめかえ用のハンドソープの容量が、増量前の何倍かを選択する。</p>	<p>▶ 「10%増量」を具体量で示し、増加分と元の量の関係を図や数直線を用いながら指導する。 ▶ 割合を倍の見方に結び付け、「1.1倍」と表す練習を通して概念の定着を図る。</p>
<p>「データの活用」 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる。 <出題内容> 2022年の全国のブロッコリーの出荷量が2002年の全国のブロッコリーの出荷量の約何倍かを、棒グラフから読み取り、選択する。</p>	<p>▶ 複数の棒グラフを比較し、差や割合など項目間の関係に着目することができるよう指導する。 ▶ 読み取った内容を言葉や式で表現する活動を繰り返し、根拠をもって説明する力の定着を図る。</p>

令和7年度 屯田西小学校 全国学力・学習状況調査の結果について

【理科】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>「エネルギー」を柱とする領域 ◇全国平均正答率とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p>	<p>▶ 電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いているかどうかをみる。</p> <p><出題内容> ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を答える。</p>	<p>▶ 電磁石の磁力を高めるには、電流を強くする、コイルの巻き数を増やす、鉄心（芯になる金属）を入れる、コイルの銅線を太くするなど、学習したことを振り返る。</p>
<p>「粒子」を柱とする ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる。</p> <p><出題内容> 海面水位の上昇について、水の温度による体積の変化を根拠に予想しているものを選択する。</p>	<p>▶ 根拠を基にして、そこから何が予想されるかを考えることを丁寧に指導していく。</p>
<p>「生命」を柱とする領域 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる。</p> <p><出題内容> ヘチマの花のおしべとめしべについて選び、受粉について表現する。</p>	<p>▶ 観察や写真・動画資料を活用し、雄花・雌花の違いや受粉の過程を具体的に理解できるようにする。</p> <p>▶ 用語の定着を図る反復学習と簡単な実験活動を取り入れ、知識の確実な定着を目指す。</p>
<p>「地球」を柱とする領域 ▼全国平均正答率を下回っている</p>	<p>▶ 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができるかどうかをみる。</p> <p><出題内容> 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、結果を用いて表現する。</p>	<p>▶ 実験結果を表やグラフに整理させ、粒の大きさと浸透の関係を可視化する。考察の型（理由→根拠）を示し、根拠に基づいて結論を書く練習を繰り返し、表現力の向上を図る。</p>

令和7年度 屯田西小学校 全国学力・学習状況調査の結果について

【質問】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

<肯定的な回答割合が 全国と比べて多い質問>

○「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができると思いますか」

→札幌市では一人一台端末を活用した学習を推進しており、本校でもこれに倣って1年生から一人一台端末を用いた学習に取り組んでいます。学齢期の早い段階から機器の操作に触れることで、難しい操作も習得し、オリジナルのプレゼンテーション資料を作成することができています。

○「将来の夢や目標をもっていますか」

→「これを達成するために今日はこれを頑張ろう」と、日々の行動に意味が生まれ、充実感やモチベーションを高く保つことができます。また、学年に応じて「目指す姿」を明確に示すことで、「この困難を乗り越えれば、目標に一步近付ける」と考えることができるようになり、くじけずに困難に立ち向かう勇気が湧いてくると考えます。学校における自己肯定感や自己有用感の高まりが、「将来の夢」や「目標」を抱かせることにつながっているのだと考えます。

○「読書は好きですか」

→司書教諭の取組だけでなく、PTAサークル「トトロ」の皆さんのご協力により、本校のブックランドが、子どもたちにとって本に向き合いやすい環境となっています。これからも読み聞かせの会などの企画や新しい図書の選本を通して、子どもたちにとって親しみやすいブックランドの環境を整えていきます。

<肯定的な回答割合が 全国と比べて少ない質問>

○「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか」

○「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」

→本校では、比較的遅刻する児童が多い傾向にあります。子どもに話を聞くと、夜遅くまでスマホを触っていたり、テレビゲームをしてしまったりすることが多いようです。また、遅く起きてしまったために、朝ご飯を抜いてくることもあるようです。学校での日常指導や保健の学習で睡眠や食事の大切さを指導していますが、御家庭でも「健康」についてお子様とお話していただけたらと思います。

○「これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか」

→上記とつながりますが、友達と遊ぶときに、スマホやテレビゲーム等による遊びが主流となり、外で体を使って遊ぶ機会が少なくなってきました。また、今はネット上でたくさんの情報に触れる機会が増え、自然観察をする機会も減っているのが現状です。

一方で学校では体育館やグラウンドで友達と一緒に体を動かして、楽しく遊ぶ様子がありますし、虫を見つけて喜ぶ姿にも接します。これからは教育活動を通して自然の中で遊ぶことや自然観察をすることの楽しさを伝えていくことができるよう、努めてまいります。